



2010年9月3日

報道関係各位

北海道コカ・コーラボトリング株式会社



帯広市・北海道コカ・コーラボトリング(株)

「協働のまちづくりに関する基本協定」

～ 未来への夢と希望が持てる
活力あるまちづくりを応援～

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（本社：札幌市清田区 社長：角野中原）と、帯広市（市長：米沢則寿）は、帯広市の一層の発展と飛躍を目指し、共にまちづくりに取り組む市民協働のパートナーとする「協働のまちづくりに関する基本協定」を締結いたします。

環境モデル都市として低炭素社会の構築を目指す帯広市とともに、環境分野における協働事業をはじめとする市民協働のパートナーとして、まちづくりをすすめてまいります。

今後の具体的な取り組みとしては、世界最高水準の省エネ技術を活用した自動販売機やソーラーパネルにより夜間照明の消費電力量ゼロを実現した「eco る/ソーラー」自動販売機の集中的な展開、バイオディーゼル燃料の利用促進活動への参加のほか、すでに一部導入している電光掲示機能付自動販売機による市民広報機能の拡充など、様々な啓発活動を協働で積極的に実施してまいります。

このたび、環境にやさしいまちとして全国の先導的な役割を果たす帯広市に賛同し、帯広市民が地元に住む喜びや誇りを、これまで以上に感じていただけるよう、今後のさらなる対話の機会から共に創出していきたいと考えております。

また、十勝地区に社屋を置く当社は、地域密着の企業理念を活かすべく、国内最大級の屋内スケート場（十勝オーバル）を応援しております。

当社は、北海道の優れた水に支えられてきた道産子企業として、北海道内での環境保護活動を推進するとともに、北海道環境財団への寄付を通じ、道内各地における環境保護活動の応援や自治体と協働のまちづくりをすすめてまいります。

帯広市との協働のまちづくりに関する協定調印式

2010年9月7日（火）午前10時15分

場 所：帯広の森・はぐくむ（帯広市南町南9線49番地1）

出席者（調印者）：米沢 則寿（よねざわ のりひさ/帯広市長）

角野 中原（かくの ちゅうげん/北海道コカ・コーラボトリング(株)
代表取締役社長）

当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、責任ある企業市民として、北海道の魅力をさらに高める活動を、継続的に実行してまいります。これからも、次世代を担う子どもたちに、将来の地球の姿を考える場を提供することや、安全で安心な地域づくりを応援する取り組みを、地元企業として、事業活動を通して継続的に推進してまいります。

(取り組みの参考)

< 基本協定を結んでいる他の自治体との主な協働の取り組み >

- ・ 札幌市とは、通年で雪まつり・よさこいソーランまつりに対して、協賛以外に運営に関わる協働を実施している
- ・ 札幌市円山動物園ではカフェをオープンし、来園者の休憩を楽しんでもらう他、環境の大切さを感じていただく運営を行なっている
- ・ 円山動物園が進める国際プロジェクトの野生生物復元プロジェクト(オオワシプロジェクト)を応援している
- ・ 電光掲示機能付自動販売機を活用した児童会館ネットワークで子育て情報や地域情報を配信している
- ・ 函館市とは、昨年の函館開港150年記念行事で、電光掲示機能付自動販売機によるカウントダウンを100日前から市内30箇所で開催した
- ・ その後、その電光掲示板は函館市の広報ツールとして現在も活用している
- ・ 現在、函館市とは新しい協働プログラム実施に向けた準備を行政とともに検討している
- ・ 旭山動物園に休憩室を寄贈し、来園者サービスをお手伝いしている
- ・ 旭山動物園内に高校生が関わる教育実験農場を開設し、循環型農業の体験から環境の大切さを学んでもらう環境啓発プログラムを民間団体との協働で応援している
- ・ 旭川市内に電光掲示機能付自動販売機を配置し、行政の広報ツールとして活用している

< 本件に関するお問い合わせ先 >
北海道コカ・コーラボトリング株式会社
広報・CSR推進部 広報課
011-888-2091